

東日本外壁仕上業協同組合(☎03-3374-3981)
近畿外壁仕上業協同組合(☎06-6533-0768)
福岡外壁仕上業協同組合(☎092-512-9141)

愛媛県仕上工事業協同組合(☎089-926-2067)
中国外壁仕上業協同組合(☎082-294-4878)

東日本外壁仕上業協同組合が登録基幹技能者講習と試験を実施 合格者は27名。関西の17名を合わせ44名に!

東日本外壁仕上業協同組合(池田稚夫理事長)は11月3日(日)、4日(月)の2日間にわたり東京・大田区区京浜島の会場(森商事(株)東京支店)で登録外壁仕上基幹技能者講習会を開催した。内容は講習および試験の2種類で、採点の結果、27名が合格証を手にした。

講習の第1日目は、8時30分より小野澤専務理事によるガイダンスがあり、池田稚夫東日本外壁仕上業協同組合理事長の挨拶後、9時よりスタート。昼食を挟み午後5時30分まで実施された。

初日は冒頭、池田稚夫理事長による挨拶と説明後、大平延行氏(富士教育訓練センター)ほかによる一般知識(基幹技能者のあり方、話し方・OJT)、関連法令(関連法規について)、専門技術(調査・診断、下地処理、仕上材料、仕上工法)、事務管理に関する講義があった。

2日目は8時30分より15時30分まで西川岳人氏(明新工業(株)代表取締役)ほかによる現場管理(施工管理、品質管理、資材管理、原価管理、安全管理、工程管理)に関する講義があった。その後、15分の休憩を挟み15時45分より17時45分までの2時間にわたって学科試験が行われた。

一方、近畿外壁仕上業協同組合でも11月30日(土)、12月1日(日)に大阪市中央区の関西ペイント(株)内施設にて同講習会を開催した。小野澤昭専務理事によるガイダンスの後、



東日本地区での講習風景(講師は大平延行氏)

山崎睦治副理事長が挨拶し、講習が行われた。講習後に行われた試験の結果、17名が合格した。日本外壁仕上業協同組合連合会としては平成21年度の講習を開始して以来すでに154名が合格し、登録されていることから、今回の合格者44名を加えると併せて198名となる。

塗装、左官、防水の3業種からの受験が可能であることもあり、その受験のし易さなどからか年々、受講者の数は増えているのが実情だ。

登録基幹技能者制度は、建設産業の労働生産性の向上、品質・性能・安全の確保のために建設31業種40団体で整備されている制度。基幹技能者は、専門工事業種ごとの高度な専門知識・技能を有するだけではなく、建設一般に関する幅広い知識を有する人材。登録外壁仕上基幹技能者は、塗装・吹付分野での熟練技能者、上級職長に位置付けられる。登録外壁仕上基幹技能者になるためには、塗装・吹付分野での10年以上の実務経験と職長経験が必須となる。そのうえで、外壁仕上一級技能者合



近畿地区での講習風景(講師は野口陽一氏)

格者または国土交通大臣優秀施行顕彰者(建設マスター)であるという条件が必要となるため、今後、多くの受験者がチャレンジしてくるものと思われる。

小野澤専務理事によれば、「この資格は、吹付塗装の分野における最上位資格であり、登録基幹技能者を目指すことは、技能者が段階的にスキルアップしていくための大きな目標となるのではないかと。また、国土交通省も奨励している資格制度であり、建設現場での一定数の配置を義務づけるなど今後益々、重用される資格で今後は合格のハードルも上っていくのが予想される。合格率の高い今が受験のチャンス」と話している。国土交通省は、登録基幹技能者に対する経営事項審査(経審)の加点について、Z(技術力)の評価項目の中で、一人当たり一律3点を加点することを決定している。国土交通大臣に登録をした機関が実施する登録基幹技能者講習を修了し試験に合格した者は、新たに経営事項審査で加点されることとなる。さらに、大手

ゼネコンの協力を得ることを通じて、基幹技能者の賃金を底上げしていけるような制度も模索されており、基幹技能者への期待は拡大しつつあると言える。日本外壁仕上協同組合連合会は、国土交通省令第3号建設業施工規則の一部を改正する省令(平成21年4月28日付)に基づき、基幹技能者認定講習会を運営実施する認定団体として認定登録されており、今回開催された講習は、建設業法施行規則第18条の3の6の規定に基づき「登録建設塗装基幹技能者」の

認定を行う講習会だ。基幹技能者の資格を取得するためには、この講習を受け、試験に合格する必要がある。会場で試験に立ち会った池田理事長も「吹付・塗装・防水分野の仕事に携わっておられる方は、この登録外壁仕上基幹技能者試験の受験をお勧め致します。登録基幹技能者の具体的役割は、建設工事現場の要となる上級職長であり、今後、益々重要な役割を期待されてくる資格です」と組合員の受験と資格取得に期待を寄せていた。

日建連、女性の技能者活用について本腰

(一社)日本建設業連合会(日建連/中村満義会長)は、昨年12月6日、「女性技能労働者活用専門部会」(能登谷英俊座長)の初会合を開き、女性技能労働者の建設現場での積極的な活用に向けた議論を本格的に開始した。これによると、同専門部会内に女性委員だけのワーキンググループを設け、課題点を整理することとなった。併せて専門工事業団体の組織・建設産業専門団体連合会(建専連)とも連携し、女性技能労働者

に対するヒヤリングを行う方針という。同部会は、今年(平成26年)2月に中間取りまとめを行う予定。日建連は、早期に実施できる取り組みについては平成26年度の事業計画に盛り込み実行に移していく方針だ。

技能労働者の恒常的な不足、特に若年労働者の入職が減少している建設業界にとって女性技能労働者の活用・確保は喫緊の課題であるだけに、その成果が期待されるどころだ。

■ 短信 ■

□本連合会の前会長で(株)相信代表取締役社長)の伊集院均氏は、かねてより病氣療養中のところ、昨年11月5日午後4時30分に死去された。享年66。通夜は11月10日(日)午後6時より、葬儀告別式は11日(月)午前11時よりいずれも東京都新宿区原町2-34の「瑞光寺」でしめやかに執り行われた。喪主は長男の道信氏。



成25年度登録外壁仕上基幹技能者講習委員会を開催した。同会議には田中辰明・お茶の水女子大学名誉教授、小俣一夫・NPO湿式仕上げ技術センター理事長、野口陽一本連合会会長ら、委員9氏全員が出席、①平成25年度・登録基幹技能者講習会の東日本地区の結果報告と合格基準点について、②平成26年度・講習会計画について、③登録基幹技能者更新講習の内容について——などを協議した。

□近畿外壁仕上業協同組合は、1月26日(水)午後5時より大阪市北区の「ウェスティンホテル大阪」にて「平成26年新年の集い」を開催する。

□日本外壁仕上業協同組合連合会は、11月26日(火)午後3時より日本建築仕上材工業会会議室において平

■ 40年の歴史をもつ全国組織です ■

日本外壁仕上業協同組合連合会(本部/東京都・会長/伊集院均; 略称NGS)は、昭和42年に日本建築仕上材工業会の前身である日本防水シロ工業会の施工部門が独立して設立された建築吹付工事の専門家組織です。今日、外壁仕上協同組合連合会所属の会員会社は、吹付・塗装を業務の核としながらも、屋根・防水・内装工事など幅広い事業展開をしており、時代が求める総合リフォームのプロ集団へと変貌を遂げつつあります。国土交通省の行政指導のもと以下の全国5地区に事務所を置く協同組合の連合体です。活動状況など詳しくは本部事務局または各組合事務局にお訊ね下さい。

- 東日本外壁仕上業協同組合(理事長: 池田 雅夫)
- 近畿外壁仕上業協同組合(理事長: 岩田 紳一)
- 愛媛県土木工事業協同組合(理事長: 平田 弘)
- 福岡外壁仕上業協同組合(理事長: 川口 大介)
- 中国外壁仕上業協同組合(理事長: 稲本 和生)

■ 登録外壁仕上基幹技能者を育成 ■

登録基幹技能者制度は、建設産業の労働生産性の向上、品質・性能・安全の確保のために建設27業種35団体が整備された制度です。基幹技能者は、専門工事業種ごとの高度な専門知識・技能を有するだけではなく、建設一般に関する幅広い知識を有する人材です。それゆえに、現場の実態に応じた的確な施工方法を技術者に提案することができ、関連業種との調整能力も発揮する人材です。

また、効率的な工事推進のための優れた現場管理能力・原価管理能力を有し、建設産業の労働生産性を高めることに資することのできる人材です。登録外壁仕上基幹技能者は、塗装・吹付分野での熟練技能者、上級職長に位置づけられます。建設現場で働く技能者をリーダーシップをもって東へ、指示・指導しながら、優れた塗装・吹付工事を達成できるように努める人材です。登録外壁仕上基幹技能者になるためには、塗装・吹付分野での10年以上の実務経験と3年以上の職長経験が必須となります。そのうえで、外壁仕上級技能者合格者または国土交通大臣優秀施工顕彰者(建設マスター)であるという条件が必要となります。

当該資格は、吹付塗装の分野における最上位資格であります。登録基幹技能者を旨とするのは、技能者が段階的にスキルアップしていくための大きな目標となります。国土交通省は、登録基幹技能者に対する経営事項審査(経審)の加算について、Z(技術力)の評価項目の中で、一人当たり一律3点を加算することを決定しています。国土交通大臣に登録をした機関が実施する登録基幹技能者講習を修了し試験に合格した者は、新たに経営事項審査で加算されることとなります。さらに、大手ゼネコンの協力を得ることを通じて、基幹技能者の賃金を底上げしていけるような制度も模索されており、基幹技能者への期待は拡大しつつあります。

日本外壁仕上業協同組合連合会は、国土交通省令第3号建設業法施行規則の一部を改正する省令(平成21年4月28日付)に基づき、基幹技能者認定講習会を運営実施する認定団体として登録されました。講習は、建設業法施行規則第18条の3の6の規定に基づき「登録建設塗装基幹技能者」の認定を行う講習会であり、当該資格を取得するためには、この講習を受け、試験に合格する必要があります。吹付・塗装分野に携わっておられる方は、積極的に登録外壁仕上基幹技能者試験の受験をお勧め致します。登録基幹技能者の具体的役割は、建設工事現場の要となる、上級職長等として、以下の役割を通じて効率的で生産性の高い工事を実施する者を指します。

1. 現場の状況に応じた施工方法、工程等の提案、調整等、
2. 現場作業を効率的に行うための技能者の適切な役割分担等作業手順の決定、
3. 他の技能者の施工に係わる指示、指導、
4. 前工程・後工程に配慮した他の職長等との必要調整。

登録基幹技能者に必要な能力は、1. 吹付塗装の技術に熟達していること、2. 吹付塗装の技術に関連する知識、技術の進展等に対応していく力、3. 現場をまとめ、体系立った効率的な作業を実施するための管理能力、4. 塗装・吹付に携わる方。

■ 受験資格・手続き・経営審査 ■

平成14年~20年に外壁仕上基幹技能者に合格された旧基幹技能者の方は、制度が「登録外壁仕上基幹技能者」になるにあたり、特例講習を受講する必要があります。特例講習の実施は、2014年10月から24年3月まで完了となりました。